

令和5年10月27日

報道機関各位

長岡市総務部庶務課長



## 個人149人、9団体を表彰 令和5年度長岡市表彰式を開催

このたび、長年にわたり、長岡市の発展にご尽力をいただいた方々を表彰する長岡市表彰式を下記のとおり開催しますので、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

### 令和5年度長岡市表彰式

- 日時** 11月3日（祝・金）午前10時から（1時間程度）
- 会場** アオーレ長岡 東棟4階 大会議室（大手通1丁目4番地10）
- 内容** (1)開式  
(2)市長挨拶  
(3)表彰状贈呈  
(4)来賓祝辞  
(5)閉式
- 受賞者** 全体：個人149人、9団体  
内訳：長岡市市政功労者顕彰等に関する条例による表彰…個人4人  
長岡市表彰条例による表彰……………個人134人、7団体  
長岡市地域社会貢献者褒賞規則による表彰……個人11人、2団体  
※受賞者の功績など詳細は別紙をご覧ください。

（ 問い合わせ：庶務課 植木  
TEL 0258-39-2203 ）

# 令和5年度長岡市表彰等の受賞者名簿

(順序不同・敬称略)

## 1 長岡市市政功労者顕彰等に関する条例により表彰されるかた（4人）

- 多年にわたり市議会議員として尽くされた功績（市議会議員20年以上）

桑原 望                      丸山 勝総                      水科 三郎  
長谷川 一作

## 2 長岡市表彰条例により表彰されるかた（134人、7団体）

- 令和5年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰を受賞された功績

長岡市立山本中学校

### 【活動内容】

長岡市立山本中学校は、創立40周年となる昭和62年に記念花壇が整備されたことを契機に、「花と対話する山中生」を合言葉に緑化活動に取り組んできた。学年を超えて生徒が一丸となり、地域の緑化イベントへの参加や福祉施設等への花苗の配付を積極的に行い、地域と一丸となって様々な緑化活動を展開している。

花壇づくりは「山本中学校花いっぱいプロジェクト」と題し、毎年の花活動のテーマを全校生徒で考え、テーマにふさわしい花壇のデザインも考えている。土づくりから花苗植え、花壇の手入れは生徒会が中心となり、全校生徒と職員が協力して活動している。そして、毎年1年間の活動の振り返りを行い、花栽培をとおして他を思いやる心、協力する気持ちや責任感を醸成している。

また、学校外でも近隣の福祉施設等に花を携えて訪問するなど積極的に交流を図り、花を通じて地域に貢献している。平成16年に「新潟・福島豪雨」と「新潟県中越地震」に連続して見舞われ、地元が元気をなくしていたなか、生徒が花コンテナを地域に配布し、住民を元気づけるなど、花づくりが地域と学校を結ぶ大切な活動となっている。なお、このことは、後に地域のコミュニティセンター等と連携した緑化イベント「山本地区花いっぱいフェスティバル」の開催へと発展した。また、長岡市緑化センターの緑化事業に積極的に参加している。令和3年度からは、SDGsの観点から新聞紙育苗ポットにコスモスやビオラを植えて地域の方に配布するなど、環境問題への関心と理解を深めながら活動を行っている。

### 【会員数】

教職員数 15人 生徒数 63人

### 【活動期間】

昭和62年～現在（36年）

○ 第34回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞された功績

親子の創造活動・応援団キューブ

【活動内容】

平成20年3月、遊びの中に土や植物に触れる活動や様々な体験活動をとおして、大人も子どもと一緒に育ち合い、生きる力を育むことを目的に設立。平成22年6月には「未来につなげよう！ゆめ花道」植栽活動をスタート。殺風景だった地元越路中学校入り口交差点から駐輪場までの歩道脇の路肩約150mに様々な花を植栽・管理している。法面直下という場所柄から試行錯誤の連続だが、自分たちで種から育てた苗等を活用しながら毎年活動している。この活動は通学途中の生徒や地元住民の交流を生み、多世代交流や地域の活性化につながっている点が高く評価されている。

また、平成29年4月からは来迎寺駅前の花壇整備にも取り組んでいる。越路地域の宝である「もみじ園」への玄関口である来迎寺駅前を花いっぱいにし、「迎える心」「送り出す未来」に華を添えようと植栽・管理に積極的に取り組んでいる。

(主な活動内容)

- ・遊びの中に「農」、「食」、「地域貢献」を取り入れた体験活動
- ・越路中学校入り口交差点から中学校駐輪場までの歩道路肩約150mの石取り、掃除、土入れ、植栽、草取り、水やり、花がら摘み等
- ・来迎寺駅前花壇の掃除、土入れ、植栽、草取り、水やり、花がら摘み等
- ・長岡市花いっぱい運動実行委員会への参加
- ・長岡市花いっぱいコンクールへの参加

【会員数】

約20人

【活動期間】

平成20年3月～現在(15年7月)

○ 令和4年度都市緑化功労者国土交通大臣表彰を受賞された功績

大原 久治

【活動内容】

大原氏は、昭和40年代中頃に環境問題に興味を持ったことをきっかけに、昭和60年から現在までの38年間にわたり、里山の自然生態系を守るための活動を継続してきた。昭和61年からは、地元町内会を中心にボランティアを募り、長岡市宮本町3丁目地内の里山において山野草の保護作業を始める。昭和62年には、行政と一体となった「まちづくり」を実行することとなり、植物園の基本構想をまとめるとともに、市民ボランティア組織「雪国植物園同志会」を設立し、里山の再現に向け本格的な作業を開始した。平成8年4月に「雪国植物園」がオープンするまでの間、延べ2,000人のボランティアが造園作業に参加した。

氏は、現在もガイドボランティア、山野草の講習会の講師や幹事会の企画運営など、現役として雪国植物園のさらなる充実とボランティア組織の拡大を目指して日々活動を続けている。

以上のことから、氏が長年にわたり、自然生態系を守る活動を通じて緑花推進や公園整備を進めた功績は、高く評価されるものである。

(主な活動内容)

- ・草刈り等園内管理作業
- ・園内ガイド
- ・山野草自然観察会の講習会
- ・幹事会
- ・園内イベントの企画、実施

【活動期間】

昭和60年1月～現在(38年10月)

【活動頻度】

昭和60年1月～平成14年3月	年間	80日	活動(※常駐前)
平成14年4月～現在	年間	255日	活動(※常駐)

○ 令和4年度地域環境美化功績者環境大臣表彰を受賞された功績

社会福祉法人浄英会 長生保育園

【活動内容】

園児への環境教育として、「森のムッレ教室（スウェーデン発祥の自然環境教育プログラム）」を通じて自然環境に親しみながら「いのちの循環」を学び、自然環境を大切にする心を育てている。子どもたちが野外で過ごすことが当たり前になるように、晴れの日も雨の日も楽しく外遊びをしたり、毎週水曜日を野外保育・食育の日と定め、園庭や外で過ごすことを習慣化した。

毎週、外部講師を招いて森のムッレ教室を行い、そのなかで保育園の周りの生き物の生態系ピラミッドを作り、命の循環を学んでいる。

園庭裏の川を清掃し、たくさんの生き物が生息できる環境に改善したり、隣接する公園の草取り、清掃活動に積極的に参加することで、地域の自然環境改善にも貢献している。

平成15年に新園舎を建築してからは、園庭に四季を通じて様々な花を咲かせ、実を付ける草花を植え、虫や鳥も集まる豊かな自然環境を構築、全面に天然芝を貼り、園児が裸足で遊べる環境を整えた。

令和4年6月24日 発表

【会員数】

職員数48人 園児数196人

○ 令和5年度地域環境保全功労者環境大臣表彰を受賞された功績

社会福祉法人浄英会 恵和こども園

【活動内容】

「環境と共生する保育園」を目指し、園児や家庭への自然環境教育を行い、保育園での緑化活動や地域住民との清掃活動等により、地域の自然環境の改善、環境保全に対する意識啓発に貢献している。

昭和57年から41年間の長きにわたり、花づくりに取り組んでいることに加え、保育の年間・月間指導計画に環境教育を位置付け、自然に触れる体験活動を実践する保育活動を行っている。また、職員が（一社）日本野外生活推進協会の研修に参加し、環境保護活動のリーダーとして資格を取得し、緑化活動など保育現場での実践している。

園のビオトープや花壇、農園での活動をおとした中学生との交流をはじめ、園で栽培した花苗等を地元敬老会や老人施設へ贈呈したり、公園のクリーン作戦の実施などの地域交流を実践している。保護者への啓発活動としては、園駐車場内でのアイドリングストップ運動を実施している。資源ごみ回収などのリサイクル活動により得た収益金で苗を購入し、植樹している。

これらの活動を通じ、地域の自然環境改善と環境保全に対する意識啓発に大変貢献している。

令和5年6月9日発表。

【会員数】

職員数62人 園児数263人

【活動期間】

昭和57年～現在（41年）

○ 令和5年防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞された功績 2団体

中越市民防災安全士会

【活動内容】

当該団体は、平成16年の中越地震の経験から、地域の防災リーダーの育成を目的とした「中越市民防災安全大学」の卒業生有志が、継続的な防災知識の習得と地域での防災活動での実践につなげるため、平成19年に結成した市民団体である。

地域の防災活動にアドバイスする「防災よろず相談」窓口の常設や、防災訓練指導、応急手当指導等への講師派遣を実施。令和3年度には、洪水からの「逃げ遅れゼロ」の実現に向けて自主防災会等が行う活動を整理し、時系列にまとめる「わが町の防災タイムライン」を作成した。

また、地域の防災リーダーを務める自主防災会長等を対象とした研修会を実施し、自主防災活動の活性化にも貢献している。

近年は専門部の一つとして、女性部を立ち上げ、災害食づくりや防災グッズづくり講座の実施など、女性の視点からの防災力向上にも取り組んでいる。

なお、平成28年の熊本地震以降は、市と民間関係団体の官民協働ユニットによる被災地支援に同行し、全国の被災地で被災者に寄り添ったきめ細やかな支援を行っており、被災地の支援の経験と教訓を市の地域防災力向上に活かしている。

以上のことから、当該団体の活動は、日常的に市民の防災力の向上に寄与し、自主防災活動の活性化に貢献したことから、防災体制の整備を進めた功績として高く評価されるものである。

(主な活動内容)

防災よろず相談(週4日)、地域防災訓練への講師派遣(救急訓練指導等)、地域研修会開催支援、災害食づくりや防災グッズづくり講座の実施

NPO法人ふるさと未来創造堂

【活動内容】

当該団体は、「わくわくする防災教育」をきっかけに、学校、地域、家庭が一体となつての「共育社会の再建・創造」を目指すため、活動している。

防災を「自然環境と命を題材に、地域をより深く学び、郷土愛を深める学習」とした教育は、一人一人の防災意識を高めるだけでなく、変化の激しい社会を生き抜く「未来を切り拓く力の育成」につながると考え、主体的な学び、取組を実践している。

市内の学校の防災教育支援はもちろんのこと、令和4年度は、県内外小中学校226校、8団体を支援し、講座や研修会などを実施した。

また、持続可能なプログラムづくりと環境整備にも取り組むほか、ICTツールの活用も積極的に行い、情報発信に取り組んでいる。

なお、当該団体は、令和4年8月豪雨により被災した村上市の災害支援(村上市災害ボランティアセンターの運営支援)も行った。

以上のことから、当該団体の行政と連携し、地域と学校を結びつける活動は、子どもをきっかけとした家庭での防災意識の向上につながり、地域の防災力強化、防災思想の普及に貢献した功績として、高く評価されるものである。

(主な活動内容)

学校防災教育(学校への防災サポーター配置、教職員向け指導資料作成)、商業施設での防災・減災啓発活動、地域および家庭の防災教育支援、研修会の開催、災害支援、「こども防災未来会議」の実施、大人のための勉強会「まなびのミライ」の実施、防災に関する動画コンテンツの作成・配信。

○ X Games Chiba 2023 BMXフリースタイルフラットランドで優勝された功績

片桐 悠

【受賞内容】

大会名 X Games Chiba 2023  
種目 BMXフリースタイルフラットランド  
成績 優勝（出場：8名）  
開催日 令和5年5月12日～14日  
会場 ZOZOマリンスタジアム（千葉県千葉市）

○ 第29回世界競歩チーム選手権男子団体20キロメートルに出場し準優勝された功績

諏方 元 郁

【受賞内容】

大会名 第29回世界競歩チーム選手権  
種目 男子団体20km  
成績 準優勝（出場：11チーム）  
開催日 令和4年3月4日～5日  
会場 オマーン マスカット

○ マイナビジャパンビーチバレーボールツアー2022ファイナルグランフロント大阪大会で優勝された功績

長谷川 徳 海

【受賞内容】

大会名 マイナビジャパンビーチバレーボールツアー2022  
ファイナルグランフロント大阪大会  
種目 男子ビーチバレーボール（カテゴリー：BVT1）  
成績 優勝（出場：6組）  
開催日 令和4年10月15日～16日  
会場 グランフロント大阪うめきた広場（大阪府大阪市）

○ 2023ジャパンパラ陸上競技大会および第34回日本パラ陸上競技選手権男子100メートルおよび男子200メートルで優勝された功績

松田 将太郎

※「将」については表記のとおり

【受賞内容】

大会名 2023ジャパンパラ陸上競技大会  
種目・成績 男子 T37 100m 優勝（出場：5人）  
男子 T37 200m 優勝（出場：4人）  
開催日 令和5年6月10日～11日  
会場 岐阜メモリアルセンター長良川競技場（岐阜県岐阜市）

大会名 第34回日本パラ陸上競技選手権大会  
種目・成績 男子 T37 100m 優勝（出場：4人）  
男子 T37 200m 優勝（出場：3人）  
開催日 令和5年4月29日～30日  
会場 神戸総合運動公園ユニバー記念競技場（兵庫県神戸市）

- 2022ジュニア全日本自転車競技選手権大会ロードレース女子ジュニア+U17で優勝ならびに2022UCIジュニアトラック世界選手権女子ジュニアチームパシュートに出場し入賞され日本新記録を樹立および女子ジュニアポイントレースに出場し入賞された功績

水谷 彩奈

【受賞内容】

大会名 2022ジュニア全日本自転車競技選手権大会  
種目・成績 ロードレース 女子ジュニア+U17優勝（出場：19人）  
開催日 令和4年6月25日～26日  
会場 美山町 特設ロードコース（京都府南丹市）

大会名 2022UCIジュニアトラック世界選手権  
種目・成績 女子ジュニア チームパシュート4位（出場：8チーム）  
日本新記録（4' 33" 585）  
ポイントレース5位（出場22人）  
開催日 令和4年8月23日～27日  
会場 イスラエル テルアビブ

- 第77回国民体育大会空手道競技会少年男子組手個人戦で優勝された功績

水野 朝陽

【受賞内容】

大会名 第77回国民体育大会 空手道競技会  
種目 少年男子組手個人戦  
成績 優勝（出場：47人）  
開催日 令和4年10月2日～4日  
会場 栃木県立南体育館（栃木県小山市）

- 2023北斗旗第6回世界空道選手権大会男子230以下クラスで優勝された功績

目黒 雄太

【受賞内容】

大会名 2023北斗旗第6回世界空道選手権大会  
種目 男子230以下クラス  
成績 優勝（出場：9人）  
開催日 令和5年5月13日～14日  
会場 国立代々木競技場 第二体育館（東京都渋谷区）

- 国際大会日本代表選手選考会競泳男子50メートル平泳ぎで優勝された功績

山中 祥輝

【受賞内容】

大会名 国際大会日本代表選手選考会  
種目 競泳男子50m平泳ぎ  
成績 優勝（出場：48人）  
開催日 令和4年3月2日～5日  
会場 東京辰巳国際水泳場（東京都江東区）

○ 多年にわたり長岡市バスケットボール協会理事長および顧問として尽くされた功績

高 木 喜 一

※「高」については表記のとおり

【活動内容】

高木氏は、昭和61年4月から現在に至るまで約37年間にわたり、長岡市バスケットボール協会の役員として協会運営に携わるほか、子どもたちの指導にあたるなど競技の普及に尽力した。

活動期間

昭和61年4月～平成15年3月 理事長 17年

平成15年4月～現在 顧問 20年7月

○ 多年にわたり長岡市バスケットボール協会理事長、副理事長、理事および顧問として尽くされた功績

鷺 頭 賢 一

【活動内容】

鷺頭氏は、昭和55年4月から現在に至るまで約43年間にわたり、長岡市バスケットボール協会の役員として協会運営に携わり、競技の普及に尽力した。

活動期間

昭和55年4月～平成11年3月 理事 19年

平成11年4月～平成15年3月 副理事長 4年

平成15年4月～平成22年3月 理事長 7年

平成22年4月～現在 顧問 13年7月

○ 多年にわたり長岡市柔道会理事長および理事として尽くされた功績

星 野 和 雄

【活動内容】

星野氏は、平成3年4月から令和3年3月までは長岡市柔道会の理事として、また、令和3年4月から令和5年11月現在までは理事長として、合計32年7月の長きにわたり会の運営に携わり、長岡市柔道教室の指導員としても柔道の普及と選手育成に尽力された。その手腕は高く評価されている。

活動期間

平成3年4月～令和3年3月 理事 30年

令和3年4月～現在 理事長 2年7月

○ 多年にわたり長岡市柔道会副会長および理事として尽くされた功績

渡 辺 三 映

【活動内容】

渡辺氏は、平成3年4月から現在まで32年にわたり、長岡市柔道会の役員として会の運営に携わり、競技の普及・発展に尽力した。

活動期間

平成3年4月～令和3年3月 理事 30年

令和3年4月～現在 副会長 2年7月

○ 多年にわたり長岡市空手道連盟会長として尽くされた功績

小 林 光 紀

【活動内容】

小林氏は、平成5年4月から令和5年11月現在まで30年7月にわたり、長岡市空手道連盟の会長として連盟の運営に携わり、空手道スポーツ少年団の創設や開府400年記念長岡市民武道祭の発起人を務めた。

また、国際的に指導も行うなど、競技者の発掘・育成に尽力し、地域はもちろん国内外におけるスポーツ振興における功績が顕著であり、その手腕は高く評価されている。

活動期間

平成3年4月～現在 会長 30年7月

○ 第5回日本オープンイノベーション大賞で内閣総理大臣賞を受賞された功績

国立高等専門学校機構長岡工業高等専門学校

国際協力機構（JICA）

NPO法人長岡産業活性化協会NAZE

長岡技術科学大学

有限責任監査法人トーマツ

【活動内容】

当該プロジェクトチームは、高専生がアフリカの社会問題の解決を模索し、「ものづくり」の力で解決を図ることで、国際理解と課題解決力をもつエンジニアを育成することを目的とする「JICA高専オープンイノベーションチャレンジ」の取組により、第5回日本オープンイノベーション大賞で最高賞である内閣総理大臣賞を受賞した。この取組は、国際協力機構（JICA）がアフリカの社会問題をテーマに現地連携先と設定した課題を提供、長岡高等専門学校生が中心となって全国の高専生チームから課題解決提案を募り、選抜されたチームが解決のための試作品を作成して事前検証と現地実証を実施するものである。NPO法人長岡産業活性化協会NAZEや長岡技術科学大学、有限責任監査法人トーマツは、技術提供やアドバイスといったサポートを行っている。

具体的な活動内容として、ケニアでの家畜の飼料や作物の肥料となるアブの幼虫とその餌になる生ごみを分別する手作業を効率化する装置の開発、ルワンダでの新型コロナウイルス感染拡大対策として、建物に出入する人の履歴と体温を記録する装置の開発、マダガスカルでの洪水被害を防ぐため、水辺に散乱するごみや水草を回収する網の制作などがある。現地連携先は高専生の能力について、技術、課題分析、発想力を高く評価。特にケニアでは、現地企業が独自に資金調達し、装置を改良、実用化。スケールアップを達成するなどの効果があった。

賞ではグローバルエンジニアの育成効果に加え、地元企業群や大学と連携し、地方創生への貢献も期待されることから、日本のオープンイノベーションの新たな形を示した点が評価された。

○ 多年にわたり平和の森コンサート実行委員長として尽くされた功績

畠山 徳雄

※「徳」については表記のとおり

【活動内容】

平成7年の第1回開催から現在（第29回）に至るまで、畠山氏は実行委員長として、平和の森コンサートを開催してきた。同コンサートは長岡空襲から50年の節目に空襲の歴史を後世に伝えようと発足した「平和の森をつくる会」の活動の一環として千秋が原の野外音楽堂でスタートした。

平成8年以降は、本町三丁目に完成した「平和の森公園」に会場を移して開催。これまで、平成23年の豪雨災害や令和2年からの新型コロナウイルス感染症の流行と、いくつもの困難がありながらも、他の委員や関係者と協力し、一度も中断することなく開催してきた。

また、同コンサートは市民ボランティアの手作りコンサートとして次第に定着していき、現在では長岡市の平和関連事業として欠かすことのできない事業にまで発展した。

なお、氏は同実行委員長の他に、花いっぱい音楽祭実行委員長や長岡アロハクラブの会長としても活動しており、長岡市の音楽文化の発展、音楽を通じた平和交流の促進にも大きく貢献している。

以上のように、長きにわたり、音楽を通じて平和の尊さを発信してきた氏の功績は、高く評価されるものである。

活動期間

平成7年2月～現在 実行委員長 28年9月

○ 多年にわたり選挙管理委員会委員として市政の発展に寄与された功績（12年以上） 1人

小方 久男

○ 多年にわたり公平委員会委員として市政の発展に寄与された功績（12年以上） 1人

高橋 賢一

○ 多年にわたり農業委員会委員として市政の発展に寄与された功績（12年以上） 2人

稲波 忠昭                      粉川 一夫

○ 多年にわたり情報公開・個人情報保護審査会委員として市政の発展に寄与された功績（15年以上） 2人

恩田 真弓                      星野 徹

○ 多年にわたり環境審議会委員として市政の発展に寄与された功績（15年以上） 1人

宮腰 和弘

○ 多年にわたり町内会長として市政の発展に寄与された功績（12年以上） 9人

安藤 雪男                      石垣 喜市                      内山 健三

大倉 豊則                      大淵 公男                      加藤 洋一

※「倉」については表記のとおり

小林 正博                      松井 春敏                      家合 幸雄

○ 多年にわたり人権擁護委員として市政の発展に寄与された功績（15年以上） 1人

中曾根 勝彦

○ 多年にわたり民生委員・児童委員として市政の発展に寄与された功績（15年以上） 10人																														
<table border="0"> <tr> <td>磯部 静子 ※「静」については表記のとおり</td> <td>川崎 薫</td> <td>坂田 廣次 ※「廣」については表記のとおり</td> </tr> <tr> <td>島 宗 富美江</td> <td>高橋 政之 ※「高」については表記のとおり</td> <td>瀧澤 トシ子</td> </tr> <tr> <td>堀口 明美</td> <td>室橋 義郎</td> <td>矢澤 榮一</td> </tr> <tr> <td>柳澤 由紀子 ※「柳」については表記のとおり</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	磯部 静子 ※「静」については表記のとおり	川崎 薫	坂田 廣次 ※「廣」については表記のとおり	島 宗 富美江	高橋 政之 ※「高」については表記のとおり	瀧澤 トシ子	堀口 明美	室橋 義郎	矢澤 榮一	柳澤 由紀子 ※「柳」については表記のとおり																				
磯部 静子 ※「静」については表記のとおり	川崎 薫	坂田 廣次 ※「廣」については表記のとおり																												
島 宗 富美江	高橋 政之 ※「高」については表記のとおり	瀧澤 トシ子																												
堀口 明美	室橋 義郎	矢澤 榮一																												
柳澤 由紀子 ※「柳」については表記のとおり																														
○ 多年にわたり保護司として市政の発展に寄与された功績（15年以上） 3人																														
石原 栄一                      磯部 芳江                      松本 宣之																														
○ 多年にわたり学校医および保育園医として市政の発展に寄与された功績（25年以上） 1人																														
野村 裕治																														
○ 多年にわたり学校歯科医および保育園歯科医として市政の発展に寄与された功績（25年以上） 5人																														
加藤 和広                      北澤 敦                      田代 智宏 永井 正紀                      山田 浩之																														
○ 多年にわたり母子保健推進員として市政の発展に寄与された功績（25年以上） 2人																														
安藤 和美                      鰐淵 けい子																														
○ 多年にわたり食生活改善推進委員として市政の発展に寄与された功績（25年以上） 5人																														
五十嵐 美幸                      高橋 ユミ子                      竹日 世津子 中林 里江                      ※「高」については表記のとおり 山本 マキ子																														
○ 多年にわたりスポーツ推進委員として市政の発展に寄与された功績（25年以上） 2人																														
須藤 ひろみ                      山田 昭																														
○ 多年にわたり消防団員として市政の発展に寄与された功績（25年以上） 74人																														
<table border="0"> <tr> <td>青柳 久 ※「柳」については表記のとおり</td> <td>足立 照久</td> <td>荒川 正光</td> </tr> <tr> <td>五十嵐 俊将</td> <td>五十嵐 祐介</td> <td>猪股 竜太郎</td> </tr> <tr> <td>今井 匠</td> <td>今泉 公英 ※「今」については表記のとおり</td> <td>江口 信浩</td> </tr> <tr> <td>大崎 友則 ※「崎」については表記のとおり</td> <td>大橋 淳一</td> <td>小熊 忠</td> </tr> <tr> <td>長田 年弘</td> <td>角田 毅 ※「角」については表記のとおり</td> <td>嘉代 健太</td> </tr> <tr> <td>片桐 英彰 ※「片」については表記のとおり</td> <td>金安 裕義</td> <td>金安 洋平</td> </tr> <tr> <td>樺澤 剛</td> <td>菊入 一昭 ※「菊」については表記のとおり</td> <td>木曾 和彦 ※「曾」については表記のとおり</td> </tr> <tr> <td>喜多村 裕</td> <td>桑原 勝利</td> <td>桑原 正樹</td> </tr> <tr> <td>桑原 陽一</td> <td>剣持 良雄</td> <td>木間 基</td> </tr> <tr> <td>小林 悟</td> <td>小林 隆明</td> <td>米山 英男</td> </tr> </table>	青柳 久 ※「柳」については表記のとおり	足立 照久	荒川 正光	五十嵐 俊将	五十嵐 祐介	猪股 竜太郎	今井 匠	今泉 公英 ※「今」については表記のとおり	江口 信浩	大崎 友則 ※「崎」については表記のとおり	大橋 淳一	小熊 忠	長田 年弘	角田 毅 ※「角」については表記のとおり	嘉代 健太	片桐 英彰 ※「片」については表記のとおり	金安 裕義	金安 洋平	樺澤 剛	菊入 一昭 ※「菊」については表記のとおり	木曾 和彦 ※「曾」については表記のとおり	喜多村 裕	桑原 勝利	桑原 正樹	桑原 陽一	剣持 良雄	木間 基	小林 悟	小林 隆明	米山 英男
青柳 久 ※「柳」については表記のとおり	足立 照久	荒川 正光																												
五十嵐 俊将	五十嵐 祐介	猪股 竜太郎																												
今井 匠	今泉 公英 ※「今」については表記のとおり	江口 信浩																												
大崎 友則 ※「崎」については表記のとおり	大橋 淳一	小熊 忠																												
長田 年弘	角田 毅 ※「角」については表記のとおり	嘉代 健太																												
片桐 英彰 ※「片」については表記のとおり	金安 裕義	金安 洋平																												
樺澤 剛	菊入 一昭 ※「菊」については表記のとおり	木曾 和彦 ※「曾」については表記のとおり																												
喜多村 裕	桑原 勝利	桑原 正樹																												
桑原 陽一	剣持 良雄	木間 基																												
小林 悟	小林 隆明	米山 英男																												

近藤 義 恭	齋藤 篤	齋藤 弘 行
酒井 篤 史	佐々木 秀 和	笹崎 繁 喜 ※「崎」については表記のとおり
佐藤 賢 二	佐藤 隆 志	佐藤 裕 一
篠田 秀 樹	清水 稔	白倉 正 弘
鈴木 好 幸	関川 英 一	関口 孝 志
高木 慎 也	高橋 弘 樹 ※「高」については表記のとおり	高橋 芳 雄 ※「高」については表記のとおり
多田 正 範	田中 克 幸	田中 隆 宏
田中 晃	土田 和 弘	土田 憲 裕
鳥越 修	内藤 和 明	内藤 光 政
永井 靖 幸	中澤 淳	長島 大 輔
夏井 信 明	布川 昭 彦	長谷川 芳 弘 ※「芳」については表記のとおり
早川 藤 樹	原田 一 美	樋口 正 利 ※「樋」については表記のとおり
広川 康 博	星野 文 雄	松本 貴 光
間野 久 雄	吉原 隆	米山 和 仁
渡邊 進 一	渡邊 貢	

### 3 長岡市地域社会貢献者褒賞規則により表彰されるかた（11人、2団体）

- 多年にわたり地域福祉ボランティア活動を続けられた功績 2人

早川 笑子

#### 【活動内容】

過疎化や高齢化が進むなか、地域の高齢者福祉向上を目的として、NPO法人和島ライフケア協会が立ち上げられた。早川氏は当初から運営に積極的に携わっており、高齢者の集いの場所として、自宅の一部を「笑声喫茶ありがとう」として平成25年から提供し続けている。活動時には集いの場の清掃、電話対応、料金の徴収・管理等の業務を一手に担っている。

「笑声喫茶ありがとう」は、「人と会って話すことは、人生最高のご馳走である」を合言葉に、現在は週3回開店し、利用者同士の会話や、体操・トランプなどのレクリエーションの場となっている。このように、「笑声喫茶ありがとう」の存在は、地域に住む高齢者の行き先や目的をつくりだし、利用者の健康年齢の向上に大きく貢献している。

また、氏の明るく面倒見のよい性格は、集いの場の利用者のみならず、周囲からも高く評価されている。

#### 活動期間

平成25年12月～現在（9年11月）

#### 活動頻度

平成25年～平成30年 週5回

平成31年～令和3年 週4回

令和4年～現在 週3回

※いずれも1回6時間

早川 正光

#### 【活動内容】

早川氏は、平成27年に和島地域のタクシー会社が廃業となったことをきっかけに、地域の高齢者をはじめとした移動手段を持たない人たちの生活維持を目的に、同年7月から自家用車を使用したボランティア送迎サービスを開始した。令和3年10月からは同地域内で、乗り合いタクシー「わし麻呂号」の運行が開始されたが、利用者の希望で現在もサービスを継続している。

このように、氏が提供するサービスは、日々の買い物や医療機関の受診などに大変役立っており、高齢者等多くの利用者から非常に感謝されている。

#### 活動期間

平成27年7月～現在（8年4月）

#### 活動頻度

年間約190回（一月当たり約16回）

○ 多年にわたり街路の美化活動を続けられた功績 1人

今井 法夫

【活動内容】

今井氏は、中学校教諭として勤務していた晩年、居住地域の耕作地が急激に減少するとともに空き家が増加し、付近の道路の雑草を刈る人もいなくなり、自身の出身校である土ヶ谷分校跡の校庭も草が生い茂っていることに気付いたことで、自宅付近から分校跡までの約600mの街路の草刈りを数回行っていった。その矢先、中越地震により被災。以来、ボランティアの必要性を強く感じ、本格的に街路の美化活動を開始した。

活動の目的は、出身の土ヶ谷地域から栃尾市街地に至る街路の安全と快適な通行環境の確保。過疎高齢化に伴う人員減少への対応としての地域環境の維持。自身の健康維持及び近隣住民の賛同及び協力者の増加促進である。活動内容としては、積雪がない毎年3月～11月に市街地までの街路の草刈りを週2回、側溝の清掃を年10日、落ち葉の片づけを年12日、ごみ拾いを月1日（トンネル内は冬季も実施）、栃尾トンネル東口のブロック上での草花の植栽と草取りを年6回、孫が通学する栃尾東小学校の歩道の草取りを年3回程度行っている。

氏の活動は、熊や猪の早期発見にもつながっており、安全で快適な地域づくりに貢献しているほか、土ヶ谷、小貫、山田町の住民で氏の活動を見て街路の草刈りをする人が増えており、良い波及効果を与えている。

また、毎年4月に行う町内全体の屋外清掃活動では区長とともにリーダーシップをとり、6月の小中学校合同の町内奉仕活動では積極的に子どもたちを指導するなど、長年活動している氏への評価は高く、地域住民から大変感謝されている。

活動期間

平成26年4月～現在

3月～11月にかけてほぼ毎日19年5月

○ 多年にわたり図書館ボランティアを続けられた功績 1人

高橋 啓美

【活動内容】

高橋氏は、子どもたちが使いやすい図書館になるように、また、本が大好きな子どもをこれまで以上に増やしたいという思いから、自身の子どもが千手小学校の在籍時に学校が募集した図書館ボランティアに応募し、平成13年4月から活動を開始した。以来、現在に至る約22年7月の間、活動を継続している。活動内容は、主に月1回程度の読み聞かせや本の整理整頓、修理、書架や本の清掃などである。

特に顕著な功績としては、子どもに読ませたい良書100冊をリストアップし、6年間で全て読み終えることにチャレンジする「千手っ子の100冊」という取組において、長年に渡って積み上げてきた本に対する知識と近年の動向を踏まえた見識により、その時代に適した100冊を選ぶ作業を行っていることが挙げられる。また、図書館司書としての経歴を生かし、図書館ボランティアのリーダーとして、読み聞かせや図書室の環境整備の進め方についての研修講座を開いてその講師を務め、持てる知識や技能を伝え、後進の育成にも尽力している。以上の点から学校にとって欠くことができない大変貴重な人材となっている。

千手小学校が読書活動優秀実践校として文部科学大臣表彰を受賞することができたのは、氏の力によるところが大きい。氏は、ベテランボランティアとして信頼が厚く、周囲の評価は非常に高い。

活動期間

平成13年4月～現在 月1回 22年7月

○ 多年にわたり岩戸舞の継承および後継者の指導・育成を続けられた功績 1 団体

葎谷神楽保存会

【活動内容】

葎谷神楽は、栃尾地域の山間にある40戸ほどの葎谷集落で古くから伝わる伝統芸能であり、「岩戸舞」の名で長岡市の文化財に指定されている。獅子頭を付けて舞い、集落到立ち寄った村松藩のお殿様を歓迎し披露したといわれ、集落内では代々年長者から若手に伝えられてきた。

葎谷神楽保存会は、昭和29年4月に葎谷神楽団から改組設立。以来、活動を続けてきた。昭和63年からは、上塩小学校（令和5年3月31日閉校）及び刈谷田中学校の児童生徒に文化財伝承活動に取り組んでもらうとともに、発表の場を設け、表現活動の進展に寄与している。特に、長岡市合併後は、子どもたちとの合同演舞に力を入れ、郷土愛醸成等に力を入れてきた。

具体的な活動内容としては、令和4年度まで毎年7月から11月初旬にかけて週1回、上塩小学校の3、4年生の総合的な学習の時間の外部講師として指導にあたっていた。また、上塩フェスティバル（文化祭）において、子どもたちとともに地域住民に神楽舞を披露し、地域文化の継承を行ってきた。学校での活動以外にも毎年1月2日には、厄除け、無病息災を願い集落内の家々を巡っている。

現在では、30年以上前に神楽舞を指導した子どもが成人し、伝承活動をしているなど、その活動は長く地域に根差しており、周囲の評価は高い。岩戸舞が現在に引き継がれているのは、同会の長年にわたる熱心な活動の成果であり、地元伝統文化の伝承に対する功績は大きい。

（活動期間  
昭和29年4月～現在 69年7月）

○ 多年にわたり交通安全街頭指導を続けられた功績 7人

今井 俊夫

【活動内容】

平成24年4月、町内の老人会が行ってきた活動の担い手がなくなり、同世代の仲間4人で「自分たちの孫を見る。」という思いからはじめ、現在に至る。約11年間、毎朝、子どもたちの登校の集合場所から広い歩道が確保される原信川崎店前までを同行、下校時は逆ルートで同行する。今井氏が同行するルートは川崎東小学校から最も遠隔の町内であり、国道8号などの交通量の多い道路もあるため、子どもたちの健康などの様子にも気を遣いながら活動を実施してきた。大雨や豪雪など歩行の困難を極めるときは特に慎重に誘導している。

また、子どもたちの危ない行動や様子など、交通安全指導時に気付いたことを学校へ報告するなど学校との連携もっており、これら情報は学区全体で共有されるため、保護者からも感謝されている。

氏を含む4人は、日頃から餅つきやさいの神などの町内会活動においても中心的存在を担っていることから、児童生徒、保護者をはじめ、地域住民からも厚く信頼されている。

（活動期間  
平成24年4月～現在 登下校時ほぼ毎日 11年7月）

熊 原 豊

【活動内容】

平成24年4月、町内の老人会が行ってきた活動の担い手がなくなり、同世代の仲間4人で「自分たちの孫を見る。」という思いからはじめ、現在に至る。約11年間、毎朝、子どもたちの登校の集合場所から広い歩道が確保される原信川崎店前までを同行、下校時は逆ルートで同行する。熊原氏が同行するルートは川崎東小学校から最も遠隔の町内であり、国道8号などの交通量の多い道路もあるため、子どもたちの健康などの様子にも気を遣いながら活動を実施してきた。大雨や豪雪など歩行の困難を極めるときは特に慎重に誘導している。

また、子どもたちの危ない行動や様子など、交通安全指導時に気付いたことを学校へ報告するなど学校との連携もっており、これら情報は学区全体で共有されるため、保護者からも感謝されている。

氏を含む4人は、日頃から餅つきやさいの神などの町内会活動においても中心的存在を担っていることから、児童生徒、保護者をはじめ、地域住民からも厚く信頼されている。

活動期間

平成24年4月～現在 登下校時ほぼ毎日 11年7月

小 池 雄 二

【活動内容】

平成24年4月、町内の老人会が行ってきた活動の担い手がなくなり、同世代の仲間4人で「自分たちの孫を見る。」という思いからはじめ、現在に至る。約11年間、毎朝、子どもたちの登校の集合場所から広い歩道が確保される原信川崎店前までを同行、下校時は逆ルートで同行する。小池氏が同行するルートは川崎東小学校から最も遠隔の町内であり、国道8号などの交通量の多い道路もあるため、子どもたちの健康などの様子にも気を遣いながら活動を実施してきた。大雨や豪雪など歩行の困難を極めるときは特に慎重に誘導している。

また、子どもたちの危ない行動や様子など、交通安全指導時に気付いたことを学校へ報告するなど学校との連携もっており、これら情報は学区全体で共有されるため、保護者からも感謝されている。

氏を含む4人は、日頃から餅つきやさいの神などの町内会活動においても中心的存在を担っていることから、児童生徒、保護者をはじめ、地域住民からも厚く信頼されている。

活動期間

平成24年4月～現在 登下校時ほぼ毎日 11年7月

津 端 一 治

【活動内容】

平成24年4月、町内の老人会が行ってきた活動の担い手がいなくなり、同世代の仲間4人で「自分たちの孫を見る。」という思いからはじめ、現在に至る。約11年間、毎朝、子どもたちの登校の集合場所から広い歩道が確保される原信川崎店前までを同行、下校時は逆ルートで同行する。津端氏が同行するルートは川崎東小学校から最も遠隔の町内であり、国道8号などの交通量の多い道路もあるため、子どもたちの健康などの様子にも気を遣いながら活動を実施してきた。大雨や豪雪など歩行の困難を極めるときは特に慎重に誘導している。

また、子どもたちの危ない行動や様子など、交通安全指導時に気付いたことを学校へ報告するなど学校との連携もとっており、これら情報は学区全体で共有されるため、保護者からも感謝されている。

氏を含む4人は、日頃からもちつきやさいの神などの町内会活動においても中心的存在を担っていることから、児童生徒、保護者をはじめ、地域住民からも厚く信頼されている。

活動期間

平成24年4月～現在 登下校時ほぼ毎日 11年7月

バンネヘカ ワサンタ デリップ クマール

【活動内容】

氏は、地域の子どもたちや地域の役に立ちたいという思いから、平成12年頃から毎日、子どもたちと一緒に登校しながら交通安全指導にあたっている。氏は、裕田地域のみならず、他地域の子どもたちに対しても積極的な声掛けや見守りを行うことで、地域全体の子どもたちの健全育成にも努めている。

また、小学校を卒業し中学生や高校生となった子どもたちが氏の職場を訪れ、交流が続くなど、多くの子どもたちから厚い信頼を寄せられている。

活動期間

平成12年～現在 登校時ほぼ毎日 23年

波 形 勝 助

【活動内容】

波形氏の孫が小学校に入学したことをきっかけに、平成20年4月から、どんな天候の日であっても、毎日、登下校時に交通安全街頭指導にあたっている。

活動場所は、川崎小学校の通学路となっている大浦橋付近や川崎コミュニティセンター分館付近で、冬期間には、大浦橋付近の道幅を確保するための除雪作業も行っている。

現在、同小学校区では氏を含め20名で交通安全街頭指導を行っているが、その中でも最も長く活動が続けている1人である。長年に渡り活動している姿や、年1回開催されている「子供の安全を守る会」へ積極的に参加している姿から、学校や児童の保護者からも感謝されている。

活動期間

平成20年4月～現在 登下校時ほぼ毎日 15年7月

室 橋 哲 朗

室橋氏は、トラック乗務員という仕事柄、交通事故等への意識が高く、川崎小学校区の交通安全に関心を持ったことをきっかけに、平成25年11月から、毎日、子どもたちと一緒に登校しながら交通安全指導にあたっている。さらには、不審者情報があると、登校後に小学校周辺の見回り活動も行うなど、子どもたちの安全確保に日々努めている。

現在、同小学校区では氏を含め20名で交通安全街頭指導を行っているが、その中でも最も長く活動を続けている1人であり、セーフティパトロールの会の会長も務めている。長年に渡り活動している姿や、年1回開催されている「子供の安全を守る会」へ積極的に参加している姿から、学校や児童の保護者からも感謝されている。

活動期間

平成25年11月～現在 登校時ほぼ毎日 10年

- 多年にわたり地域資源を活かした取組による地域コミュニティの交流推進を続けられた功績  
1団体

田麦山地域おこしの会

【活動内容】

田麦山地域おこしの会は、中越地震により住民が地区外に転出し、地域の活気がなくなっていくのを目の当たりにしたことで設立した市民活動団体である。田麦山の地域資源と人々のつながりを最大限に活かし、持続可能な地域づくりに取り組むことを目的としており、明るく楽しく魅力ある田麦山の実現を目指している。

会には、歴史文化資源部会、自然資源部会、食資源部会、拠点整備部会、編集局部会の5つの部会があり、会の設立当時から活動を続けており、それぞれが田麦山の資源を活かした取組を行っている。

歴史文化資源部会は、地区に伝わる民衆芸能の披露や伝承活動をしており、平成23年10月に「はねおけさ」を50年ぶりに復活させ、地域や市内のイベントで披露したり、福祉施設の慰問活動を行っている。自然資源部会は、親子の触れ合いによる子どもの健全育成を目的に、年1回5月にバードウォッチングを行っている。食資源部会は、郷土料理の伝承を目的に、山菜やきのこを使った料理をふるまう郷土料理まつりを春と秋の年2回行い、市内外から100人近くの参加者が集まるなど人気の催しとなっている。拠点整備部会は、環境整備のため花壇の整備や植栽を行い、令和3年には、花いっぱいコンクールで優良賞を受賞した。編集局部会は毎年1回会報を発刊し地区全戸に配布しているほか、春と秋にホームページを更新し、イベント情報の発信やPR等を行っている。

会の活動は、地区の資源を活かした取組を行うことで、過疎化が進み、活気がなくなってきた地域の住民同士や地区外から訪れる人との交流の推進に寄与するとともに、地域の活性化に貢献している。

活動期間

平成23年4月～現在 12年7月